クラシック音楽の 正しい鑑賞法 ■12■

シューマン作曲「美しき５月に」～この季節にぴったり

ピアニスト・北海道教育大学岩見沢校准教授　深井　尚子

今、北海道は一斉にお花が咲き、一気に春爛漫になっていますが、北海道の気候は、ヨーロッパにとてもよく似ています。5月は、ヨーロッパも同じように春の訪れを喜びます。

ローベルト・シューマン（1810～1856）は、連作歌曲集「詩人の恋」の第1曲目に、「美しき5月に」という曲を書きました。素晴らしく美しい5月に、恋が始まる…という内容で、この季節にぴったりの作品ではないでしょうか。

シューマンが30歳のころ、苦難を乗り越えて愛する人と結婚できた時期に、作曲されました。「詩人の恋」は、ハイネの詩による16曲の連作歌曲で、シューマンは、インスピレーションに導かれて、あっという間に書き上げたといわれています。

シューマンは、ロマン派を代表する作曲家で、ベートーヴェンの強い影響を受けながら、叙情的で自由な形式の作品を数多く生み出しました。皆さんは、トロイメライなどご存知ではないかと思います。ロマン派の音楽は、文学と深く関わりがありますが、特にシューマンは、父親が書店を営んでいたこともあり、若いころから文学に親しみ、詩、言葉、文字からの印象を音楽にした作曲家です。形式を重視する古典派の時代のあと、自由な感情表現を謳歌したロマン派は、文学においても花開きました。

しかし、文学は、言葉によって直接的な表現をすることに対して、音楽は、言葉が無く音によって表現するため、観念的で、文学より高級な芸術として発展していきました。そのような社会情勢の中、シューマンは、自ら音楽新聞の編集に携わり、立法学者に対抗する"架空の"ダヴィッド同盟"を作り、その紙面において仮名で持論を展開していました。

「詩人の恋」は、ハイネの詩に音楽をつけたもので、当時のハイネ（1797～1856）は、たくさんの抒情詩を書いています。シューマンは、過去の芸術家より同世代の芸術家の作品も率先して読み、その心情や表現に傾倒しました。詩人の恋には、第一曲のほかに、「僕のあふれる涙から」「バラに百合に鳩に太陽」「僕は夢の中で泣いた」などのタイトルがあり、恋する真情をまっすぐに綴ったハイネの詩に、美しいピアノ伴奏が書かれています。

シューマンは、ピアニストを目指して20歳でピアノの名教師に師事しますが、無理な練習のせいで、指を故障しピアニストの道を断念しました。その後、作曲に転じ、シューマン独特の、複雑でありながら美しいメロディ、多彩なハーモニーでロマン派の代表的な作曲家となりました。その名教師の娘のである天才ピアニスト、クララ・ヴィークと結婚し、たくさんの子どもに恵まれ、生涯、仲良く連れ添いました。

しかし、シューマンは、精神を病むようになり、ライン川に投身自殺しますが救出され、晩年は精神病院で暮らし、その生涯を閉じます。「詩人の恋」を聴くと、シューマンの繊細で真面目な性格をうかがわせるメロディやピアノ伴奏部分の不思議な和声進行で、シューマンの音楽の世界に浸ることができます。

「美しい5月に」の歌詞は、「素晴らしく美しい5月に、すべてのつぼみがはじけていたころ、僕の心の中に愛が生まれた。すべての鳥が歌っていたころ、僕は彼女に告白した。僕の憧れと熱い思いを」というもので、この情景は、私たち北海道に住むものが実感として同じ感覚を持つことができるのではないでしょうか。

郷土文芸

岩見沢柳の芽川柳会

胸に住む獏が持ってる余生絵図　浜中　直子
凛と咲く花にみせられ背筋伸び　松本　津也子
免許返上不安と安心同居する　森　繁雄
昨日より今日が輝く誕生日　前田　清徳
大切に洗う八十路の今日の顔　小杉　多嘉子
介護犬わたしを連れて足鍛え　横山　悦子

中空知の郷土文芸

滝川俳句会

掌の温み運命線がこそばゆい　山口　たへ
赤い糸切れず切らずに半世紀　福田　ゆきえ
終活に独り居どうし語が弾む　小林　英子
心地よい風に彩あり多数決　岡　嘉彦
どんどの火指図の声の空にぬけ　寺島美智子
暫し息呑む　渡辺　静子
やすやすと力ジノ法案通す国の子らの未来　蔵　七三子
よ雪雲おもし　鈴木かほ里
到底に訪えぬハワイぞ画像みて広き海原想　相野　禎子
像逞し　小川えな子
しっかりと正面向いて立ち位置を決めてほ　松井　京子
しいと願う親心　竹原　繁子
ハーモニカを吹く陽ちゃんに声あわす七十
路われら従姉妹の三人（みたり）
葉物野菜今季高値と見出しあり不揃いな野
菜畑より拾う
国旗をば掲げる家の少なしと思いつつ行く
神社参拝
持ちこすは小さき病ひとつにて深く息すふ
新年（にひどし）の朝

立春の日射しにこたふ鳶の舞　吉田とみを
立春やほつと心が弾みをり　小林みつ子
一心に何を啄む寒雀
立春の未だ将軍座するなり　内山　清子
体調を気遣ふ便り冬日和
水音の戻りし川や春立ちぬ　佐藤　敦子
手鏡の余白の空や春めきぬ
暮れぎはや踏めば奏ずる凍てし道　泉　恂子
一口の水の和らぎ春立てり
子らの声弾けて道の雪解かな
晴れてるよ声かける朝春きざす　田中　恭子
木々の私語昂り集め山笑ふ
水底に光る釦や寒明けし　横山　守
春キャベツ四分の一を使ひきる
立春の陽に背を押され美術館　児玉　佳恵
立春の厨に白きつぼみかな
読経の声白くして冬伽藍　杉浦　裕子
春立つやきのふの豆を拾ひをり
揆一郎誕生の地の太氷柱　武田　立子

芦別短歌連盟

畜舎より帰る私道でつむじ風雪の舞い上ぐ

陽彩 随筆

テレビもたいへん

辻村　淑恵

フルタイムで働いていた時、テレビはあまり視ていなかったし、ラジオに至っては移動中の車で聴く程度だった。

退職してからはテレビ三昧になるのかと思いきや、そうでもなく、日中はラジオがお友だちの日々となった。聴いているとラジオもいいものである。

ラジオのいいとこ、その一。週末を除き、毎日同じ時刻に同じアナウンサーの声で、レギュラー番組が放送されていて安心できる。アナウンサーやパーソナリティの掛け合いに、笑いが浮かぶこともしばしばで、想像力がかき立てられる。時計がわりにもなって仕事の段取りを組み立てやすい。

いいとこ、その二。聴取者を積極的に取り込んでいること。局側の取捨選択はあるにせよ、聴取者の意見や思いを速やかに声で伝えてくる手法は、リモコンのDボタンで参加する方式のテレビよりも勝っていると思う。

その三。ニュース速報や気象情報、交通情報など、地元に密着した情報が提供されていてありがたい。

テレビだって、ニュースバラエティが毎日あるし、臨時ニュースはテロップで流れるじゃないかと言われそうだが、画面の前に座り込んでいなければ情報は得られないという難点がある。

最近とみに面白くないといわれているテレビだが、ギャラの安そうなタレントや芸人さんたちをひな壇に据えて、ただ大騒ぎ。たまに売れっ子俳優が現れたとみれば、『番宣』と称し、出演番組の宣伝をしたりするから、視るほうは白けてしまう。コマーシャルがやっと終わったかと思えば、先ほど放映済みの画面が重ねて流れる。これもストレス。「続きは3分後に」などと勿体をつけて引っ張られようものなら、即チャンネルを変えるか電源を切る。視聴者は気が短いのだ。

視聴率を稼げなければスポンサーがつかない。スポンサーがつかないからお金がかけられない。その悪循環が分からないでもないが、なんとかしてほしいよなぁ。

「視たいドラマは全部録画しておいて、あとでコマーシャルを飛ばして視るの」よく聞く話だ。

機器の進歩まで計算に入れなければならないから、テレビ局の方々も大変ですね。

おすすめのえほん

「おにのつの」

岩見沢市立図書館　玉井　美穂

ミーくんはおにのパンツやさん。ミーくんのパンツは丈夫で、おしゃれで、かっこいいと評判。

ある朝、鏡を見たミーくん。つのが無くなっています。どんなに探しても見つからない。

おおつぼ　かずみ／作・絵
２０１７年ＰＨＰ研究所

つのが生えるようにいっぱい食べたり、山の上の神様の所へ行ったり、土の下のモグ魔女の所をたずねたり。色々な事を試してみたミーくん。つのは生えたのでしょうか。

とてもかわいらしく楽しい絵本です。

本ベスト10

喜久屋書店岩見沢店（5／15～5／21）

単行本

①2017 ミシュランガイド北海道 特別版　（日本ミシュランタイヤ）
②うんこ漢字ドリル 小学３年生他　（文響社）
③がんで余命ゼロと言われた私の死なない食事　神尾哲男（幻冬舎）
④劇場　又吉直樹（新潮社）
⑤か「」く「」し「」ご「」と「　住野よる（新潮社）
⑥ツバキ文具店　小川糸（幻冬舎）
⑦モノが減ると、家事も減る…　やましたひでこ（大和書房）
⑧1日1分見るだけで目がよくなる…　林田康隆（アスコム）
⑨草の辞典 野の花 道の草　森乃おと（雷鳥社）
⑩生きるために大切なこと　A. アドラー（方丈社）

「2017 ミシュランガイド北海道 特別版」
あっという間に完売しましたが、来週に再入荷あり。
岩見沢からも２店掲載です。

文庫本

①金の策謀 日雇い浪人生活録３　上田秀人（角川春樹事務所）
②アキラとあきら　池井戸潤（徳間書店）
③君の膵臓をたべたい　住野よる（双葉社）
④虚ろな十字架　東野圭吾（光文社）
⑤ケモノの城　誉田哲也（双葉社）
⑥リバース　湊かなえ（講談社）
⑦付添い屋・六平太 天狗の巻 おりき　金子成人（小学館）
⑧イノセント・デイズ　早見和真（新潮社）
⑨潮流 東京湾臨海署安積班　今野敏（角川春樹事務所）
⑩警察回りの夏　堂場瞬一（集英社）

高速道路に関する情報は「ドラぷら」で
www.driveplaza.com/
ドラぷら　検索
ドラぷら モバイル
24時間、365日、お客さまの声をお聞きしています。
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024（24時間）（24時間）
PHS・IP電話のお客さま：03-5338-7524
あるために、ベスト・ウェイ。
NEXCO 東日本

ふるさと新時代へ　いま、郷土と共に―
地域のニュース・情報満載・プレス空知…月契1,400円　購読・広告の問い合わせ　プレス空知 ☎(22)3700

記事・写真を「永遠」に!

【見本】フレーム付・写真はカラー

ご家庭、会社内の掲示、
お店のＰＲ用に。
または親戚や友人への
「贈り物」にどうぞ。

4切サイズ（35.5×30.5cm）3,000円

●プレス空知に掲載された記事と写真を額にお入れします。
●ご注文には、掲載日と掲載面をお知らせ下さい。
●ご注文から仕上がりまで7日～10日ほどお時間をいただきます。
●仕上がり次第ご連絡を致しますので、受取に来ていただきます。
●記事量や写真のサイズによって、掲載されたレイアウトと異なる場合がございます。ご了承ください。

プレス空知フォトサービス

プレス空知に掲載された写真をお分け致します。
受付時間／午前9:00～午後5:00（土曜正午まで）

【価格表】
■L　判　8.9cm×12.7cm…　200円
■キャビネ　13.0cm×18.0cm…　400円
■6ツ切り　20.3cm×25.4cm…1,700円
■4ツ切り　25.4cm×30.5cm…2,300円
［すべてカラー・税込価格］

※写真サイズの比率により、仕上がりが上記サイズと異なる場合があります

《ご本人様が被写体の場合、1枚目のみ 100円引きさせて頂きます。》
※但し、キャビネサイズ以上のご注文に限ります

●ご注文には、掲載日と掲載面をお知らせ下さい。
●ご注文から仕上がりまで7～10日ほどお時間をいただきます。
●仕上がり次第ご連絡致しますので、受取に来ていただきます。
●掲載写真は紙面に合わせて加工しているため、実際の仕上がりと異なる場合がございます。
●著作権や肖像権の問題から提供できない写真もございます。
●他の印刷物等への転載はご遠慮下さい。

お問い合わせ お申し込みは… プレス空知岩見沢支社　岩見沢市9条東1丁目　☎(0126)22-3700